

農業用ため池（北山池）において外来種駆除活動を実施しました。

行事内容

平成21年9月19日（土）午後1時から北山池（岐阜市打越）において、外来種駆除活動を実施しました。

北山池は古くから農業用ため池として利用されてきましたが、最近になって外国の生き物が侵入・定着し、我が国固有の生態系を破壊しています。

そこで、農業用ため池を保全するため、ため池管理者や地域住民の方々と一緒に外来種駆除活動を行いました。

主催者

打越環境協議会、打越用排水管理組合等

参加者

ため池管理者（打越用排水管理組合）	}	約50名		
打越環境協議会				
地域住民				
打越子供会				
学識経験者（自然環境保全審議会委員）			1名	
岐阜市職員			3名	
岐阜県職員			6名	
				計約60名

駆除した外来種

ブラックバス（35匹）、ブルーギル（1,115匹） 計 1,150匹
外来種は捕獲後、近隣の土地に埋めました。

捕獲した在来魚

コイ、フナ 約50匹は地区内の別のため池に移送しました。

協賛行事

この活動は、「第30回全国豊かな海づくり大会～ぎふ長良川大会～」の協賛行事及び「COP10（生物多様性条約第10回締約国会議）」のパートナーシップ事業に登録しています。



活動の様子





河川環境研究所 大原研究員による環境教育の様子

捕獲した在来魚を地区内の池に放流



ブラックバス 35匹



ブルーギル 1,115匹